

日本バリュースターオープンの運用状況

日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論)

追加型投信／国内／株式

2017年12月8日

当ファンドは、11月27日に第12期（2016年11月29日～2017年11月27日）の決算を迎え、100円（1万口当たり、税引前）の収益分配を行いました。本レポートでは、第12期の投資環境や運用状況、ならびに、今後の投資環境見通し等についてご報告いたします。

1. 第12期の国内株式市場の動向

国内株式市場は、トランプ米大統領が掲げるインフラ投資拡大や大型減税策への期待感などを受け、期首から2016年12月半ばにかけて上昇しましたが、その後は外国為替の動向を睨みながら一進一退の展開となりました。国内外の政治情勢の先行き不透明感や、地政学リスクの高まりなどが嫌気され2017年4月半ばにかけて弱含む場面もありましたが、前年同期比で為替が円安水準にあることなどから企業業績の改善が期待されたほか、2017年10月の衆議院選挙における与党圧勝を受けて外国人投資家が日本株の見直し買いに動いたことなどを背景に、国内株式市場は期末にかけて上昇基調で推移しました(図表1)。

2. 第12期の運用状況

当ファンドの主な投資対象である「日本バリュースター マザーファンド(以下、マザーファンド)」では、日本の新たな時代の成長を支える主要企業を中心に、企業価値の向上を図り、進化していく企業の株式に投資を行っています。第12期の売買につきましては、ブランドの選択と集中に伴う収益改善が見込まれた資生堂、自動車の電装化などを受け半導体の拡販による利益成長が期待されたロームなどを買い付けました。一方、収益の先行き悪化が懸念された新日鐵住金や利益成長期待が株価に織り込まれたと判断した三菱商事などを全株売却しました(図表2)。

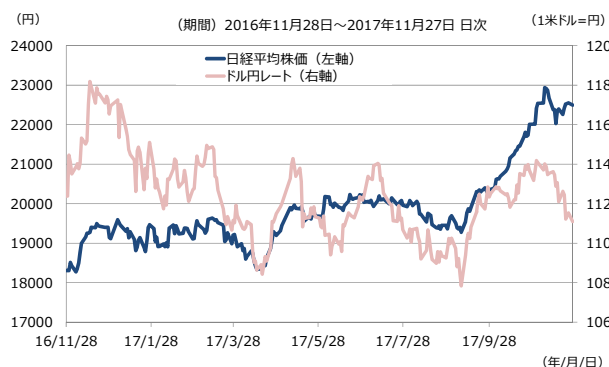
第12期末の当ファンドの基準価額は10,270円となりました。1万口当たり100円(税引前)の収益分配金を含めて、第12期の基準価額の値上がり額は2,207円となりました。マザーファンドの基準価額に対しては日本電産、東京エレクトロン、安川電機などがプラスに寄与した一方、新明和工業、三菱商事、川崎重工業などがマイナスに寄与しました(図表3)。

3. 今後の投資環境見通しと運用方針

国内株式市場は、良好な国内および海外経済、企業業績の拡大期待などを背景に、堅調な展開になると考えております。ただ、米連邦準備制度理事会(FRB)が資産縮小を開始したことによる米国および世界経済への影響など不透明感の高まりに加え、北朝鮮を巡る地政学リスクに対する警戒感などから、短期的には値動きが荒くなる可能性もあると考えられます。

当ファンドの運用につきましては、マザーファンドを通じて、当ファンドの特徴である「企業の変化」に着目した銘柄の選定を継続しながら、市場環境の変化に留意して組入銘柄の入替えや組入比率の調整を行います。また、個別銘柄の調査を通じた定性分析・定量分析などにより、投資価値が高いと判断される銘柄を選別することを通じてパフォーマンスの向上を図ってまいります。

(図表1) 日経平均とドル円レートの推移



(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表2) 主な売買銘柄

買付銘柄	売却銘柄
資生堂	新日鐵住金
ローム	三菱商事
TDK	日立建機

(期間) 2016年11月29日～2017年11月27日

(図表3) 基準価額に寄与した主な銘柄

プラス寄与	マイナス寄与
日本電産	新明和工業
東京エレクトロン	三菱商事
安川電機	川崎重工業

(期間) 2016年11月29日～2017年11月27日

※ 上記で紹介した銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論)に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論) 追加型投信／国内／株式

日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論) ファンドの特色

- 日本バリュースター マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
 - 株式への投資にあたっては、日本の新たな時代の成長を支える主要企業を中心に、企業価値の向上を図り、進化していく企業の株式に投資します。
 - 銘柄の選定にあたっては、企業の変化に着目し、ファンドマネージャーおよびアナリストによる個別企業の調査を行います。
以下の定性分析・定量分析などにより、投資価値が高いと判断される銘柄を選定します。
(定性分析) マネジメント力、技術力、価格競争力など
(定量分析) 企業の収益トレンドに応じた株価指標(PER、PBR、EV/EBITDA、配当利回りなど)
 - ポートフォリオの構築にあたっては、業種別配分や規模別配分等には特に制限を設けず、市場動向によっては、特定の業種や銘柄へのウェイト付けを行います。
 - 株式の実質組入比率は、高位(80%程度以上)を基本とします。
 - 株式以外の資産への実質投資割合は、原則として、投資信託財産総額の50%以下とします。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用状況

(作成基準日:2017年11月27日)

第12期の基準価額の推移

(2016年11月28日～2017年11月27日 日次)



※上記のグラフの基準価額は、1万口当たりの信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額とは、分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。上記グラフでは当該期間中に支払われた分配金(税引前)を考慮し、計算しています。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	10,270円
純資産総額	2,160,086,459円
マザーファンド組入比率	96.1%
実質株式組入比率	93.8%
組入銘柄数	56銘柄

分配金実績

設定来累計	100円
-------	------

※分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	電気機器	23.5 %
2	化学	10.8 %
3	情報・通信業	8.0 %
4	機械	7.8 %
5	輸送用機器	7.3 %
6	小売業	5.7 %
7	サービス業	4.0 %
8	食料品	3.9 %
9	医薬品	3.6 %
10	保険業	3.2 %

※業種および銘柄の各構成比は、いずれもファンドの純資産総額に対する実質比率です。

組入上位20銘柄

順位	銘柄名	構成比	順位	銘柄名	構成比
1	日本電産	5.2 %	11	じげん	2.8 %
2	資生堂	5.0 %	12	ニトリホールディングス	2.5 %
3	SMC	4.5 %	13	安川電機	2.4 %
4	スズキ	4.3 %	14	東京海上ホールディングス	2.3 %
5	信越化学工業	4.1 %	15	キーエンス	2.2 %
6	ペプチドリーム	3.6 %	16	東京エレクトロン	2.1 %
7	ソフトバンクグループ	3.2 %	17	アマノ	2.0 %
8	ローム	3.0 %	18	東日本旅客鉄道	2.0 %
9	TDK	3.0 %	19	古河電気工業	1.9 %
10	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.8 %	20	キッコーマン	1.9 %

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論)に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論)
追加型投信／国内／株式

「日本バリュースターオープン(愛称 経営進化論)」に関する注意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号 岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組み入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主要な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。
- その他の留意点
 - ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - ・投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ・取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の【投資リスク】をご参照下さい。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

■ 購入時

購入手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)

※詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時

換金手数料：ありません。

信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

■ 保有期間中

運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.62%（税抜1.5%）

その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)

※有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。

※監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の【手続・手数料等】をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
(登録金融機関)					
株式会社イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)